平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年1月30日

上場会社名　株式会社 エヌ・ティ・ティ・データ・イントラマート　　上場取引所　東
コード番号　3850　URL　http://www.intra-mart.jp/
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 中山義人
問合せ先責任者 (役職名) 取締役　管理本部長　(氏名) 鈴木誠　TEL 03-5549-2823

四半期報告書提出予定日　平成25年1月31日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	2,283	△6.0	146	2.8	152	6.1	88	23.0
24年3月期第3四半期	2,428	22.5	142	75.4	143	67.4	71	61.8

(注)包括利益　25年3月期第3四半期　80百万円　(31.2%)　24年3月期第3四半期　61百万円　(39.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	3,558.61	―
24年3月期第3四半期	3,176.34	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第3四半期	3,385	2,470	70.9	96,817.89
24年3月期	3,443	2,411	67.7	94,151.38

(参考) 自己資本　25年3月期第3四半期　2,398百万円　24年3月期　2,332百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	―	0.00	―	900.00	900.00
25年3月期	―	0.00	―		
25年3月期(予想)				1,100.00	1,100.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成25年 3月期の連結業績予想(平成24年 4月 1日～平成25年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,000	17.1	460	34.4	464	34.2	265	45.0	10,696.27

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ―社 (社名) 、 除外 ―社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期3Q	24,775 株	24年3月期	24,775 株
② 期末自己株式数	25年3月期3Q	― 株	24年3月期	― 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期3Q	24,775 株	24年3月期3Q	22,566 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性がありますのでご了承ください。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 3
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 3
２．サマリー情報（その他）に関する事項 …… 3
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 3
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 3
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 3
３．四半期連結財務諸表 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益及び包括利益計算書 …… 6
第３四半期連結累計期間 …… 6
（３）継続企業の前提に関する注記 …… 7
（４）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 7
（５）セグメント情報等 …… 7

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第３四半期連結累計期間における我が国の経済は、東日本大震災の復興需要に伴う緩やかな景気回復は見られたものの、欧州の金融危機や中国をはじめとする新興諸国の成長率の鈍化等による世界景気の下振れリスクや長引く円高等、さらには近隣諸国との領土問題における関係悪化等により、景気の先行きは不透明な状況が続いております。

情報産業分野においては、クラウドコンピューティングやSaaSといった新規分野の拡大により、Webシステムの重要性は一層高まっているものの、先行きの不透明感から全般的に設備投資に慎重な傾向が見られ、依然として厳しい状況が続きました。

このような情勢のもと、当社グループは、「①市場におけるプレゼンスの確立、②高い品質及び顧客満足度の実現、③コーポレートガバナンスの充実」を当期の重点方針として掲げ、業績の向上に努めてまいりました。

具体的には、「市場におけるプレゼンスの確立」として、㈱エヌ・ティ・ティ・ドコモならびに当社の特約店パートナ他42社と連携し、モバイル市場拡大を目指す「IMモバイルコンソーシアム」を設立し、法人向けモバイルソリューションの更なる拡大に向けた取り組みを進めました。

「高い品質及び顧客満足度の実現」としては、各種機能を強化した次世代システム構築基盤「intra-mart Accel Platform」や、従来製品に比べて新たにソーシャル・コラボレーション機能を強化したアプリケーション「intra-mart Accel Collaboration」といった当社製品の中核となる製品をリリースしました。

この結果、当社グループの平成25年３月期第３四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高2,283,301千円（前年同四半期比6.0％減）、営業利益146,986千円（前年同四半期比2.8％増）、経常利益152,163千円（前年同四半期比6.1％増）、四半期純利益88,164千円（前年同四半期比23.0％増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりです。

① パッケージ事業

「intra-mart」は、全国の特約店パートナを通じて販売しており、新バージョンのリリースを受けて大型案件を受注する等、基盤製品を中心に好調に推移し、アプリケーション製品の受注が伸び悩んだものの、全般に好調に推移しました。

この結果、売上高は1,450,066千円（前年同四半期比13.9％増）となりました。

② サービス事業

「intra-mart」を利用したシステム開発やコンサルティングなどの周辺サービスは、販売が好調な基盤製品関連のコンサルティングサービスは好調に推移し、また第２四半期までに発生していた受注の遅れも一部は進捗したものの、期待していた大型SI案件の受注が進まず、全般に低調に推移しました。

この結果、売上高は833,234千円（前年同四半期比27.9％減）となりました。

（当グループの四半期業績の特性について）

当社グループのパッケージ事業及びサービス事業（コンサルティング、システム開発等）は、一般企業を対象としており、事業年度を４月から３月までと定めている企業が多いため、システムの導入・検収が年度の節目である９月及び３月に集中する傾向があります。サービス事業の一部の売上高の計上基準については、工事進行基準を適用しておりますが、売上高の大半が工事完成基準（検収基準）である当社グループの業績にも季節的変動があり、売上高、利益とも第２、４四半期に集中する傾向があります。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

①資産

当第３四半期連結会計期間末における資産は、パッケージ事業における市場販売目的のソフトウェアの完成によりソフトウェアが増加したものの、現金及び預金が減少したことにより、3,385,339千円となり、前連結会計年度末に比べ57,752千円、1.7％の減少となりました。

②負債

当第３四半期連結会計期間末における負債は、パッケージ事業の製品保守の未経過分である前受金が増加したものの、未払法人税等が減少したことにより、915,162千円となり、前連結会計年度末に比べ116,148千円、11.3％の減少となりました。

③純資産

当第３四半期連結会計期間末における純資産は、配当金の支払に伴い利益剰余金が減少したものの、四半期純利益を計上したことにより、2,470,177千円となり、前連結会計年度末に比べ58,395千円、2.4％の増加となりました。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

情報産業分野は、電気料金の値上げなどの影響により、企業のIT投資は引き続き抑制される傾向にあると思われます。当社グループがターゲットとするWebシステムの環境も、クラウドコンピューティングやSaaS等の新たな分野での展開が実現しているものの、これまで以上に投資対効果の高いサービスが求められており、引き続き厳しい環境が続くものと思われます。

このような状況のもと、当社グループは引き続きSaaS・クラウドコンピューティング分野への進出に向けた統合的Webソリューションを提供するため、継続的な製品開発やソリューションの開発を積極的に取り組んでまいります。

また、短納期・低コストといった市場動向は続くと思われますが、グループ全体で付加価値の高いソリューションの提供やサービスレベルの向上を実現することにより、エンタープライズ領域への事業領域の拡大を図ります。

なお、サービス事業において、大型SI案件の受注状況が予想を下回っているものの、パッケージ事業においては新製品がリリースされ、基盤製品を中心に好調に推移していることから、業績予想に変更はありません。

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

３．四半期連結財務諸表

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成24年３月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成24年12月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,843,635	1,317,549
売掛金	461,400	389,757
たな卸資産	24,674	85,831
繰延税金資産	40,636	41,521
その他	94,042	138,832
貸倒引当金	△25	△33
流動資産合計	2,464,362	1,973,459
固定資産		
有形固定資産		
建物	36,482	35,812
減価償却累計額	△26,215	△28,192
建物（純額）	10,267	7,619
工具、器具及び備品	53,425	55,784
減価償却累計額	△29,450	△35,031
工具、器具及び備品（純額）	23,975	20,752
有形固定資産合計	34,242	28,372
無形固定資産		
ソフトウエア	238,217	931,280
ソフトウエア仮勘定	434,728	177,423
その他	72	72
無形固定資産合計	673,018	1,108,777
投資その他の資産		
投資有価証券	100,000	100,000
敷金及び保証金	107,005	107,662
繰延税金資産	63,149	65,701
その他	1,312	1,365
投資その他の資産合計	271,467	274,729
固定資産合計	978,729	1,411,879
資産合計	3,443,092	3,385,339

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成24年３月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成24年12月31日）
負債の部		
流動負債		
買掛金	167,075	130,608
未払法人税等	131,596	3,387
前受金	414,846	503,693
賞与引当金	62,344	15,744
その他	149,248	137,445
流動負債合計	925,110	790,880
固定負債		
退職給付引当金	104,251	122,625
資産除去債務	1,485	1,490
その他	463	165
固定負債合計	106,200	124,282
負債合計	1,031,310	915,162
純資産の部		
株主資本		
資本金	738,756	738,756
資本剰余金	668,756	668,756
利益剰余金	945,434	1,011,302
株主資本合計	2,352,947	2,418,814
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△20,346	△20,151
その他の包括利益累計額合計	△20,346	△20,151
少数株主持分	79,181	71,514
純資産合計	2,411,781	2,470,177
負債純資産合計	3,443,092	3,385,339

（２）四半期連結損益及び包括利益計算書
（第３四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年12月31日）
売上高	2,428,127	2,283,301
売上原価	1,471,131	1,185,804
売上総利益	956,996	1,097,496
販売費及び一般管理費	814,010	950,510
営業利益	142,986	146,986
営業外収益		
受取利息	1,604	266
協賛金収入	7,000	5,800
補助金収入	－	1,097
その他	976	801
営業外収益合計	9,581	7,964
営業外費用		
株式交付費	4,335	－
為替差損	4,778	2,422
その他	26	365
営業外費用合計	9,141	2,787
経常利益	143,426	152,163
税金等調整前四半期純利益	143,426	152,163
法人税等	77,529	71,796
少数株主損益調整前四半期純利益	65,897	80,367
少数株主損失（△）	△5,779	△7,797
四半期純利益	71,677	88,164
少数株主損失（△）	△5,779	△7,797
少数株主損益調整前四半期純利益	65,897	80,367
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△4,391	325
その他の包括利益合計	△4,391	325
四半期包括利益	61,506	80,692
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	69,042	88,360
少数株主に係る四半期包括利益	△7,536	△7,667

（３）継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

（４）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

（５）セグメント情報等
Ⅰ 前第３四半期連結累計期間（自 平成23年４月１日 至 平成23年12月31日）
１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	パッケージ事業	サービス事業	合計
売上高			
外部顧客への売上高	1,272,787	1,155,340	2,428,127
セグメント間の内部売上高又は振替高	5,148	70,314	75,462
計	1,277,935	1,225,655	2,503,590
セグメント利益	363,171	55,298	418,470

２．報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益及び包括利益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

利益	金額
報告セグメント計	418,470
セグメント間取引消去	5,989
全社費用（注）	△281,473
四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益	142,986

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

３．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

Ⅱ　当第３四半期連結累計期間（自　平成24年４月１日　至　平成24年12月31日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	パッケージ事業	サービス事業	合計
売上高			
外部顧客への売上高	1,450,066	833,234	2,283,301
セグメント間の内部売上高又は振替高	22,980	91,360	114,341
計	1,473,047	924,595	2,397,643
セグメント利益又は損失（△）	517,613	△58,010	459,603

２．報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益及び包括利益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

利益	金額
報告セグメント計	459,603
セグメント間取引消去	△9,220
全社費用（注）	△303,395
四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益	146,986

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

３．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。